

Title: 「神の谷C+D」



神の谷C+D > 2009年04月 アーカイブ

09.04.16

【コッツウォルズ地方 1泊2日

友人たちと一緒にに行ってきました。初地方！
ロンドンに来て早幾年(までは全然ですか)初めてお外へ出ました。

ロンドンがイギリスといえども有名国際都市だからいわゆる(たぶん多くの)日本人がイギリス。とイメージするののだいぶ違っていて、最初はまあ。と思っていたのですが。お外に出ると、あった。ピーターラビットな世界が、い、田舎すごくいいです。。綺麗。ピーターラビットを割と求めて来たので、一人すごく楽しかったです。後プーさん。

まずはF1サーキットのあるシルバーストーンに。友人たつての希望でこれがないければお外に出よう計画は出てきませんでした。ありがたう。2月は特にイベントなどないのだから回りを見ただけでしたが、F1の説明受けつつ、新鮮でした。駐車場にずらりと大型のトラックがあり、その中のフェラーリ格好よかったです。

そしてシェイクスピアの町に行きました。オックスブーンだったので、あまり人もいなく、静か過ぎて覗き込んだりして、ここが過ごした町と家かあと、大きいけれど、馴染んでいて普通の民家でした。シェイクスピア印のシアターも入って見学。街並みが本当素敵で可愛らしいです。チューダー調特有の白と黒のストライプ。の家々。とても可愛かったのですが、友人がお葬式の垂れ幕みたいだね、と行ってからそれにしか見えなくなりました。確かにそればい。とある場所は綺麗に等分だったから尚更でした。でもやっぱり可愛いので、好きです。そしてお掃除で忘れなそうです。

そして私の外出るならB&Dに泊まりたい！という希望を汲んで頂き、オフビークだったことだしふ夜遅かったので(7時頃くらい？)短いこともあってすんなり見つかりませんでした。が、ファームな家族経営のB&Dに決定。見た目大きい普通のお家。。でも部屋は結構のようでした。お客さん予想外だったらしく、泊まりたい、という旨を伝えたら家族総出でシート代えたり掃除したりとわたたしてました。すみません。でもそこが何だか可愛らしかった。。なのでそこに決めました。

その後B&D探している最中に見つけたレストランでお食事。家具がアンティークでゴシックめいのですが重くなく、個室分けに赤いビロードのカーテンがゆったりと壁際に重ねてあって、クッションは色形バラバラなの馴染んでいて、とても、雰囲気あって、田舎の店ってでなくて、いちいち心奪るんだと。小躍りしつつ、メニューも気取ってなくてでも気を使われて美味しくかったです。その後併設してあるバブこいさ、そこに使用中の暖炉があり、その普通感にドキドキ、寒いので暖炉を囲みながら一服し、会話し、なんて贅沢な時間なんだろうと。思い、ながら、ロックンチェアでひざ掛けして猫がいたら完璧だと夢見、イギリスの田舎っていいな。満喫しました。聞いたところによるとロンドンは大火災の後法律で暖炉を使用禁止にしたらしく、だからみんなイミテーションだったのかと納得。そしてあら残念。

翌朝、楽しみにしてたB&Dの”B”はBreakfastの”B”！イギリスといえば、フィッシュ&チップスとイングリッシュブレックファースト。だと思っていたので念願の。と思いつながら食事の間へ行き、部屋の端にはシリアルとパンが用意されていて、セルフサービスのなか、そのメインがきから食べるのかわからず、誰もいないのに食べるのも悪いし、と。でも準備されているから食べていいものなのかなと迷っていたら、オーナーの奥さんが来てこれを出しますよ。と説明してくれさあどうぞ。的かなどを言った後作するためにキッチンへ。…何をどうぞされたのかよくわからないままやっぱりつっ立っていたら、今回運転と案内をかってて下さった方が、お散歩から帰ってきて「食べていいんだよ。」と笑いながら説明してくれました。日く、そこにあるシリアルを適当に食べ終わったらメインだしてくるから、そのメインの後でもお中でパンを食べた紅茶も飲み飲んで帰って、ゆっくりするんだよ。大体、パンも紅茶もおかわりし放題だし、と。…なる。やっぱり勝手に食べ始めてよかったのかと、でもこれ一服説明されなさやわからない。よ…ただでさえ人の家っぽいのに、家族写真も置いてあるし、そこで勝手に手をつけるのは偉られた。でも次からは、いけます！解ったら安心です。

トーストをもちり頂ながら紅茶もちり頂、バターがひとつづつ包んであってそれと違ったので、イギリス、スコットランド、フランス、と味比べをして選んでいました。そして気がついた。私は、フランスのバターがとっっても大好きでした。パリに行ったときにパンとバターが美味しく、今思えばパンもさることながらバターをパンにつけて食べた感じだったのですが、何でしょう。違う味がするんです。しょっぱさではない、別の食べ物のようなマイルドな味が、私的感覚ですけども。しょっぱさももちろん好きでイギリスのバターも美味しいのですが、その別な感じが個人的にとても大好きでした。

そして近くの村村を見て、なんて可愛いだろうと。そして緑だらけがいい。ハイストリートがあって、そこにお店が並んでいて、少なくなって、放牧丘になり、また家が増えてきてハイストリートがあって、と永遠と続く感じ。その中のある町がとてらしく可愛らしく、そして最終に最高な八百屋さん？お店屋さんを見見！無造作ながらも整っているごちゃっと思えてるけども、みたいな…すごく！とても！センスが外もお店の中もセンスが良すぎて、大興奮！日本人ではきっと難しいこうゆう整理の仕方。なんだろう。四角い箱に整理して綺麗に四角くするのはとても得意な手だけれども、この、無造作、ジグソーパズルのような…ひとつ取るど？だけれども最終的にすべてが馴染んで統一されている感じ。イギリス人はどちらかというと整理に関しては日本人的なセンスだから、このお店の人フランス人系なのではないかと、顔立ちとか、チーズも豊富だし、どれもおいしそうだし、このセンス。そしてそこでスープを飲みながら、パンも色々ついてきて、フランスばいと益々勝手に、その美味しさとお店の完璧さに、友人とそんな風に好き勝手にしゃべりしていました。適当に好きなものを買って適当に並べたり飾ったりするだけなのにそれがなんともセンスがいい。て、自分は中々なのでとても憧れます。。センスがほいほい。ロンドンで友人宅にお邪魔したときもそんなおうちがあって、なんていい！と思ったのですが、そのご主人イタリア系だったそうで、何でしょう。何かあるのかな。このセンスのルーツ。

日もだいふ暮れてきたのですが、お城ひとつは行っておかないと！と、閉館ギリギリに何とか入場して、見てきました。本当に使われてたお城で本当にいるように蟻人形おかれるのは、ちょっと怖いですが。。でも立派で、本当にこんなところで生活していたひとたちがいたんだなあ、



早川 純香
1985年10月12日生まれ。たたいまロンドン滞在中。何かしたい時は赤が好きなんだと思う今日この頃。

● 最近のエントリー

- ☞ コッツウォルズ地方 1泊2日 (2009.04.16)
- ☞ 春が来て、目が覚めて。(2009.04.12)

● アーカイブ

- ☞ 2009年06月
- ☞ 2009年04月
- ☞ 2009年03月
- ☞ 2008年12月
- ☞ 2008年11月
- ☞ 2008年09月
- ☞ 2008年08月
- ☞ 2008年07月
- ☞ 2008年06月
- ☞ 2008年03月
- ☞ 2007年03月
- ☞ 2006年10月
- ☞ 2006年09月
- ☞ 2006年08月
- ☞ 2006年07月
- ☞ 2006年06月
- ☞ 2006年05月
- ☞ 2006年04月
- ☞ 2006年03月

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



OLYMPUS 3.0

と。

そしてイギリスといえばフィッシュ&チップス！適当に入って食べてきました。
ジャンクっぽく、たまに食べたくなくなります。
これを食べないと旅は終われません。

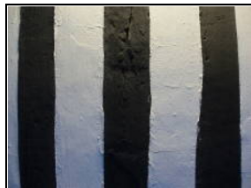
そんなこんなでお陰様でとても充実した楽しい小旅行ができました。
本当に効率よく回って案内していただき、感謝かんしゃです。
友人達も本当に、楽しい時間をたくさんありがとうございました！



シルバーストーンサーキット

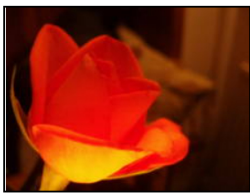


シェイクスピアの家



ストラットアボンエイボン

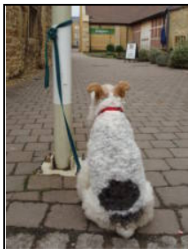




食後のデザートは欠かせません。



卵とソーセージ・ベーコン・トマト・マッシュ+シリアル・トースト・紅茶





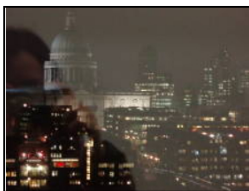
いつの間にか集まって、唐突に対決ごっこ始めた牡鹿



写真とってたらわらわら集まってきた羊さん。



領主のお城？





せっかくなのでテートモダンのカフェから記念撮影(自分)



空港にお見送りに行きました。

カテゴリ: ロンドン後然記

post by 早川 純香 | 日時: 2009.04.16 | [バナーリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

神の倉C土日 > 2009年04月 アーカイブ

09.04.12

春が来て、目が覚めて。

くまさんぼんやり考えた。

映いているのはタンポポだが、ええとぼくは誰だっけ。..誰だっけ。
(b y まどみろお。)

うろ覚え。

そんなこんなで、色々あったような、何もなかったような、でも月日は確実に流れていて、知らない間に4月も半ば。おそろし。あっという間に、1年経ってしまう。。
と思いつつ。色々振り返ってみたいと思います。

もうすっかり春ですが。

2月、ロンドン大雪降りました。

雪にはあまり馴染みなく過ごしてきたので、ひゃっほう！と楽しく。

ロンドンの人たちはめずらしいらしく、雪玉投げあったり、スベって転んだりしてとても楽しそうでした。

と思っただものの、帰り道。雪に不慣れなロンドンには、交通マヒいたしました。

今も土日は地下鉄工事で困りものですが。

たまたま外にいて、夜、電車あるうちに帰ろうと11時。

駅閉鎖！いつも後1時間はあるのに！

仕方ないのでバスで帰ってたのですが、その道すがら、雪がひどくなってきたので途中下車せられ、そうでなくても、長いバスはキュルキュル滑って、車もそんなことをしていて、少し空恐ろしかったのですが。2階建てバスまでも引き上げを開始。。

とりあえず道半分まで来れば、夜中でもう若干空しくなってきた、何時間かかってもいいからせっかくだし歩いて帰ってみるか。思っただけを決心しようとしていた矢先。

引き上げバスの中のひとつが電気がつげずに、止まり、「これから車庫へ向かうけどもその道すがらでいいならば乗って行け」とバスの兄ちゃん。

な、なんていい人……！！

困り果てた人たち(自分含め)は「ありがとうありがとう」お礼を言って乗り込んでいきました。

が、もちろん道すがらでない人は乗れませんでした。

じゃあおすまはいんだ！と怒っていましたが、「何もできない。」と。

世知辛い。すみません。と思いつつありがとうと思いつつ、すみませんと思いつつ。

いつも40分の道のりを約30分かけて帰りました。

考えていたよりも早く家に帰れ、ノアの箱舟。..と思いましたが。よく知りませんが。

でも、あのときのバスの兄ちゃん本当にありがとうございました！

雪に覆われた街はオレンジ色に反射して、いつまでも明るかった。..ヘンな感じ。

次の日。

庭に雪が降もっていて、とても嬉しくなって、雪ネコだるまとミニだるまを作りました。

素手だったもので、手が凍りましたが、満足して記念撮影して放置。

後日。

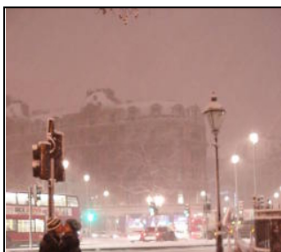
「どこの子供が不法侵入して作ったのかと思った。」とフラットメイトに不気味がられていたらしい。可愛いと思ったのに..。すみません。ここの子供でした。

2月中盤には、友達姉妹が日本からはるばる遊びにきてくれました！

何だかんだで10年以上の長い付き合いさせていただいている方たちで、初対面は20年前くらいという...。あっという間に年は取る。ではなく、一人は海外旅行初めてで、そんなこんなでとてもうれしかったです！そしてこっちに来てだいぶ経つというのに、初めてロンドンの外に出ました。

田舎。村村。ロンドンの雰囲気とは全く異なって、日本人が思い描く、イギリスだ。ピーターラビットだ。とてもとても、綺麗で穏やかで緑がいっぱいで最高でした。

分けてupしようと思います。





そんなこんなであったという間に春になり、日は延びて、今はもう5時には明るく、19時まで日がある状態。

そしてサマータイムが3月の終わりに戻ってきて、1時間減るという悲しい思いをし、知ったときは夜中で、その瞬間に12時が1時になったのですが、イヤだったので、寝て起きてから時間を変えましたが、10時に起きたら11時という、悲しい結末になりました。

今はイースタホリデーだそうで、街の雰囲気いつもの週末と違い、日本でいうゴールデンウィークみたいなものかなあと感じて過ごしています。

季節の変わり目で体調を崩したり、腐ったトマトを食べておなか壊したり、腐った豆乳を週間くらい飲んでおなか壊したり・・・トマトは、火を通せば、大丈夫だと思ったんです。明らかに腐ってたし味もへんだったけど、おなかを信じたら、裏切られた。無念。豆乳は残念ながら普通に気がつきませんでした。

そんな色々あったようななかったような、色々ありましたね・・・

桜が咲いて、こぶしが木蓮が咲き乱れて、日も延びて暖かくなってきて、心が勝手に穏やかに。健康に。公園で座る人が増えてきて、寝そべって、いいですね、やっぱり春は。





水に映ったいいかおみて、そうだぼくはクマだった。

よかったな。

なあんで。春になると思い出すこの詩。

カテゴリ: ロンドン徒然記
post by 早川 純香 | 日時: 2009.04.12 | [バナーリンク](#) | [コメント \(24\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)